

ニュースリリース

青海工場にクロロプレンゴム専用 大型自動定温倉庫を建設

電気化学工業株式会社

電気化学工業株式会社は、主力工場の青海工場（新潟県糸魚川市）にクロロプレンゴム専用の大型自動定温倉庫を建設しましたのでお知らせいたします。

当社は青海工場でカーバイド・アセチレン法によるクロロプレンゴム（商品名：デンカクロロプレン、以下CR）を1962年から製造しており、当社が採掘権を持つ石灰石原石山の原料採掘から製品出荷までの一貫した生産ラインを保有し、自家水力発電設備を活用した特長ある事業を行っております。

CRは新興国の経済成長等により需要が増大しており、当社は2010年の初めに年間生産能力を7万トから10万トに増強しました。これにあわせて、今般より一層の物流効率化と省エネルギー強化のため、製造設備に隣接する大型自動定温倉庫を建設しました。

CR出荷量の8割以上は海外向けのため、工場近隣港を利用したコンテナ船輸送の拡大は物流効率化上の大きな課題でしたが、今回総保管能力を従来倉庫の6,000トから12,000トに倍増し、輸出用コンテナへ直接積み込む設備を増強することでこれに対処するとともに、併せて自動搬送設備導入や温度管理設備強化を通じ、お客様に満足して頂くための物流品質向上を図ります。

更に製造設備と新倉庫を直接自動搬送装置で結ぶことで、工場内の物流効率化を強化する予定であり、当社では新倉庫稼動に伴うトラック燃料削減等による最終的なCO₂削減効果を、年間1,300トと試算しています。

当社はCR世界トップの生産能力を持つメーカーとして、省エネルギー技術を活かしながら、競争力をより一層強化し、グローバルな規模での事業拡大を目指します。

【新倉庫の概要】

場所	青海工場（CR製造ライン隣接地）
設備投資額	約30億円
竣工	自動定温倉庫：2010年5月 自動搬送装置：2010年11月
倉庫面積・規模	約4,500㎡ （内倉庫部分2,300㎡、高さ31m）
総保管能力	約12,000ト
主な仕様	温度管理設備（通年20℃以下）、全自動搬送設備、 入・出庫～在庫～営業情報の一元管理システム
CO ₂ 削減効果	1,300ト/年 （工場内物流合理化 200ト/年） （近隣港利用拡大による陸路輸送短縮 1,100ト/年）

【問合せ先】

IR・広報室 03-5290-5511

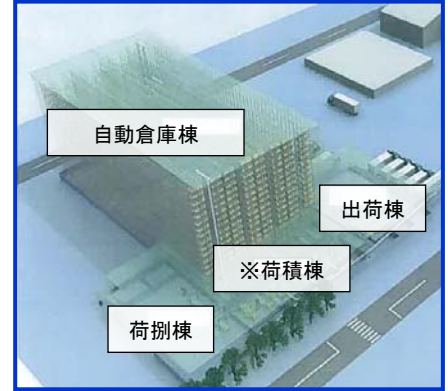
以上

参考資料 : クロロプレンゴム専用 大型自動定温倉庫の概要



大型自動定温倉庫（全景） 2010年6月撮影

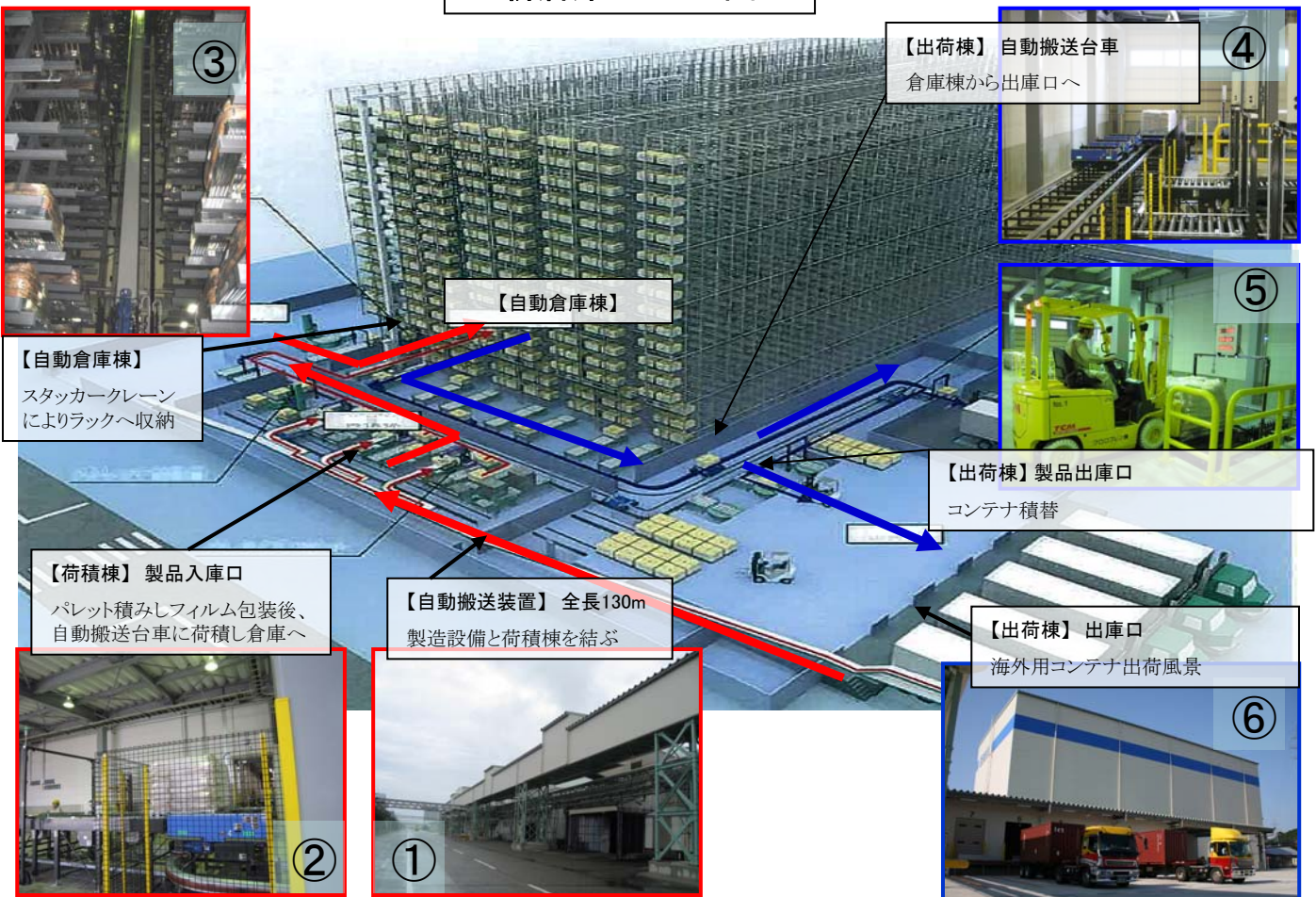
自動定温倉庫 2010年5月1日竣工
 ※ 自動搬送装置(荷積棟) 2010年11月稼動予定



入庫の流れ ①②③

新倉庫 フロー図

出庫の流れ ④⑤⑥



【特長】

1. 構内物流を自動化(コンテナ積載時のフォークリフト作業や特殊作業を除く)。効率化と省エネルギーを強化。
2. バーコードを利用し、製品1袋ごとに入庫から在庫、出荷までを一元的に管理。
3. 海外向けコンテナの積み込み能力を向上。近隣港からの船輸送拡大によるモーダルシフトを推進。
4. 通年で倉庫内温度を20℃以下に維持し、製品品質を確保。